

みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり) (愛称:明日へのとびら)

直近の運用状況について

2017年2月7日

平素は、「みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの直近の運用状況について、お知らせいたします。

◀基準価額・純資産の推移▶

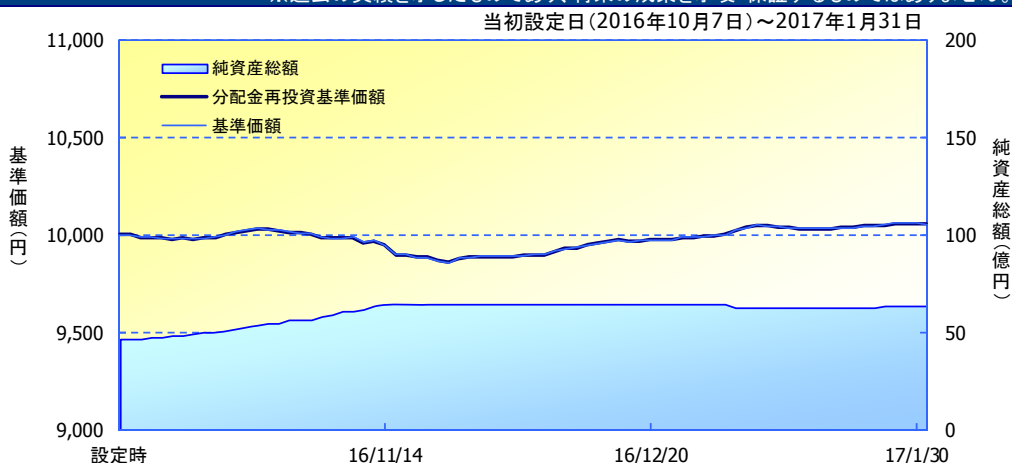
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年1月31日現在

基準価額	10,050 円
純資産総額	62億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.5 %
3カ月間	+0.4 %
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	+0.5 %
設定来	+0.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

◀主要な資産の状況▶

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	22	91.8%
コール・ローン、その他※		8.2%
合計	22	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

*当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券(劣後債、優先証券)は、外国債券として表示しています。

通貨別構成		
通貨		比率
日本円		99.7%
ユーロ		0.1%
英ポンド		0.1%
米ドル		0.0%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

格付別構成		
格付別		比率
AAA		---
AA		---
A		10.1%
BBB		82.0%
BB		7.9%
B以下		---

※格付別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	5.3
最終利回り(%)*	3.0
修正デュレーション(年)*	2.6

*次回コール日を基に算出しています。

※ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

業種別構成		合計100.0%	国・地域別構成		合計91.8%	残存期間別構成		合計91.8%
業種名	比率		国・地域名	比率	残存期間	比率		
銀行	24.3%		フランス	31.7%	0～1年	0.0%		
電力	22.8%		イギリス	18.2%	1～2年	1.9%		
通信サービス	19.3%		オランダ	12.6%	2～3年	54.0%		
不動産	8.0%		イタリア	7.4%	3～4年	35.9%		
その他公益	8.0%		ドイツ	7.2%	4～5年	0.0%		
天然ガス	6.5%		メキシコ	5.7%				
生活必需品	5.2%		イギリス領バージン諸島	3.5%				
消費財	3.4%		スウェーデン	3.1%				
素材	2.5%		オーストラリア	2.5%				

*次回コール日を基に算出しています。

※業種別構成は、パイオニア・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドが提供するデータを基に大和投資信託が作成
したものです。

※業種別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	利率(%)	次回コール日	合計58.5%
				比率
Vonovia Finance BV	ユーロ	4.625	2019/04/08	7.4%
Electricite de France SA	ユーロ	4.25	2020/01/29	7.3%
NGG Finance PLC	ユーロ	4.25	2020/06/18	7.1%
Orange SA	ユーロ	4.25	2020/02/07	6.8%
AMERICA MOVIL SA de CV	英ポンド	6.375	2020/09/06	5.7%
Barclays Bank PLC	英ポンド	14	2019/06/15	5.6%
Royal Bank of Scotland Group PLC	ユーロ	3.625	2019/03/25	5.5%
Bayer AG	ユーロ	3	2020/07/01	4.8%
Enel SpA	ユーロ	5	2020/01/15	4.3%
Engie	ユーロ	3	2019/06/02	4.0%

《参考》マザーファンドの通貨別構成

通貨	比率
ユーロ	63.8%
英ポンド	24.2%
米ドル	7.4%
日本円	4.5%
	合計100.0%

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

<最近の市況>

ファンド設定来、ユーロ圏債券市場では金利が上昇しました。2016年11月上旬、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、同氏の政策が米国景気の拡大やインフレの加速をもたらすとの観測から、米国国債に連れて金利は上昇しました。その後は、イタリアなど域内主要国の政治リスクに対する関心が高まったこと、12月のECB(欧州中央銀行)理事会でドラギ総裁が極めて緩和的な金融環境の継続を強調したことなどから金利は低下しました。2017年1月以降は、景況感改善やインフレ率上昇の継続が確認される中、ECBによる量的金融緩和縮小への警戒感も強まり、金利は上昇基調に転じました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場については、信用スプレッドがタイト化しました。11月は、イタリアでの憲法改正の是非を問う国民投票に対する懸念やイタリアの大手銀行に対する懸念などが欧州のリスク資産全般においてネガティブ要因となりワイド化しました。しかし、その後は産油国による原油の減産合意を受けた原油価格の上昇、堅調な経済指標などを受けて、市場のリスクセンチメントがおおむね良好に推移したことから信用スプレッドはタイト化基調が続きました。

<今後の見通しおよび運用方針>

2017年は欧州各国で選挙を控えており、結果次第では一時的にボラティリティが高まることが想定されます。また、米国の金利上昇を受けて、欧州についても金利上昇圧力が高まりやすいとみられますが、米国を除く各国の中央銀行は状況を見極めながら、緩和的な金融政策のさらなる強化など経済活動を支援するための長期的な施策を講じてくることが予想され、それらがリスク資産全般の下支えとなるものとみられます。

コーポレート・ハイブリッド証券市場では、ECBによる金融緩和効果などを背景に発行企業が利払いを繰り延べるリスクは依然として低く、現在のハイブリッド証券の信用スプレッドは魅力的な水準にあると考えています。また、ECBのCSPP(投資適格社債買い付けプログラム)による間接的な恩恵や投資家が相対的に高い利回りを追求する動きも継続するとみられます。2017年は昨年良好なパフォーマンスに比べるとトータルリターンはやや鈍化する可能性があります。引き続き堅調な推移を想定しています。

金融セクターについては、足元の業績は強弱入り交じる内容であり、一部の銀行ではリストラ費用の計上が業績の重しとなっています。ただし、EBA(欧州銀行監督機構)の銀行ストレステスト(健全性審査)では、一部の銀行を除き、おおむね健全な資本水準にあることが示されており、ECBの貸出条件付き4年物長期借り換え・オペ(TLTRO II)などの緩和政策については、中期的には金融システムの安定化に寄与するものと捉えているほか、景気拡大や金利上昇による収益環境の改善も金融ハイブリッド証券にとって追い風になるとみております。

当ファンドでは引き続き、リスク対比で魅力的な利回りが期待される事業会社の発行するハイブリッド証券を中心に投資を行っていく方針です。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

<組入上位銘柄の紹介>

銘柄名	セクター	国	企業概況
Vonovia Finance BV ヴォノヴィア	不動産	オランダ	ドイツを中心に欧州で不動産関連事業を展開する不動産サービス会社
Electricite de France SA フランス電力	電力	フランス	フランスで発電、送電、配電、電力輸出入などを展開する電力会社
NGG Finance PLC ナショナルグリッド	電力	英国	英国および米国北東部で送電網、ガス網を保有・運営する公益事業会社
Orange SA オランジュ	通信	フランス	フランスを中心に電話、インターネット、ケーブルテレビなどのサービスを提供する通信会社
AMERICA MOVIL SA de CV アメリカン・モバイル	通信サービス	メキシコ	中南米諸国、カリブ諸島、米国など18か国で通信サービスを手掛ける通信会社
Barclays Bank PLC バークレーズ バンク	銀行	英国	グローバルに銀行・金融サービス事業を展開する金融機関
Royal Bank of Scotland Group PLC ロイヤルバンク オブ スコットランド・グループ	銀行	英国	英国、欧州、中東、南北アメリカ、アジアで銀行・金融サービスを提供する金融機関
Bayer AG バイエル	生活必需品	ドイツ	ヘルスケアおよび農業製品などを製造するドイツの製薬会社
Enel SpA エネル	電力	イタリア	発電、天然ガス供給事業を約30か国で展開するイタリアのエネルギー企業
Engie エンジー	電力	フランス	欧州を中心に電力・天然ガス、その他エネルギー関連サービスを展開するエネルギー企業

以上

みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式*の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
 - *株式と連動して証券価格が変動するものではありません。
 - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクが高いことやハイブリッド証券固有のリスクなどにより、利回りが高いという特徴があります。
 - ※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
 - ◆世界の企業には、金融機関（除く保険）を含みます。金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。
 - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格*の格付けを有する銘柄を中心とします。
 - なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。
 - *ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上
 - ◆信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。
 - ※組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
 2. 運用は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。
 3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 - ※為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - ※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
 4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

みずほハイブリッド証券ファンド2016－10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	-
信託財産留保額	0.3%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.3824% (税抜 1.28%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

みずほハイブリッド証券ファンド2016-10（為替ヘッジあり）（愛称：明日へのとびら） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第34号	○	○	○	

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。